

2024年4月1日

需要家 各位

埼玉中央生コン協同組合

営業委員長 小林 智

コンクリートの単位水量推定試験の件

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は弊協同組合の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊協同組合員工場より納入するコンクリートの内、日本産業規格 JIS A 5308 に基づいて管理しております製品につきましては、同規格には単位水量試験は規定されておられません。しかし昨今、生コンクリートの受入試験として単位水量推定試験を実施する現場が増加し、スランプ・空気量の測定値が合格であっても、単位水量推定試験の測定値が現場の管理基準値の範囲を超えたことを理由に持ち帰りを要求される事が数件発生しております。

JIS A 5308 には単位水量推定試験の測定方法および管理基準が定められていないこと、単位水量推定試験の方法および管理基準が現場ごとに異なること、試験結果に誤差が生じる可能性が高いことなどを鑑み、弊協同組合としましては、単位水量試験の結果が現場の管理基準値の範囲を超えて持ち帰りとなった場合、日本産業規格に基づく他の試験結果が管理基準値の範囲内であれば「お客様都合による戻りコン」扱いとさせていただきます、商品代とキャンセル料をご負担いただくようお願いいたします。

上記の事情をご賢察いただき、貴現場における単位水量に対する管理基準について、今一度ご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

2024年4月1日

需要家 各位

埼玉中央生コン協同組合

営業委員長 小林 智

暑中期における生コン出荷対応について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年の夏は記録的な猛暑となり、コンクリート温度の上昇が懸念されましたが、大きなトラブルもなく、滞りなく納入させていただくことができました。今月も梅雨明けとともに夏期を迎え、数日は猛暑日となることが容易に予想できます。このような気象では、生コン製造時のコンクリート温度も35℃近辺になることが多くなります。

さらに運搬中及び荷卸し待機時間の直射日光の影響やセメントの水和進行による発熱を受け、コンクリート温度が2～3℃程度の温度上昇を生じ、35℃を超える可能性が大きいと言えます。暑中期における生コン納入については、現場ならびに工場と良く打ち合わせを行っていただきたく、お願い申し上げます。

弊組合員工場は暑中期に対応するために社内規格を変更し、コンクリート温度 38℃までを標準化しており、大臣認定品以外のコンクリートについては 38℃までの納入が可能となっております。納入現場にてコンクリート温度を 35℃以下とされている場合には、気温などの状況によっては現場にご迷惑をおかけする事態になることが考えられますので、納入をご辞退させていただくことがあることをご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

需要家様におかれましては上記内容をご理解いただき、暑中期の円滑な納入にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具